

文化学部では、札幌大学創立40周年記念として、現代イタリア民族音楽を紹介する、現代イタリア民族音楽祭「バンディタリアーナ IN 札幌」を6月17日（日）、18日（月）に開催します。

日本では、イタリアの音楽といえば「オペラ」や「カンツォーネ」などが知られていますが、現代イタリアの音楽はほとんど知られていません。文化学部では、イタリアと日本の文化交流と相互理解を深める目的で、イタリアの現代民族音楽を代表するバンド、バンディタリアーナのコンサートとワークショップを、全国イベント・シリーズ「日本におけるイタリアの春2007」（イタリア政府 イタリア文化会館主催）の協力で開催します。

6月17日（日）は市内ジャズクラブでバンディタリアーナのコンサートを行います。また、18日（月）は札幌大学で、バンディタリアーナによる「イタリア民族音楽ワークショップ」を行います。ワークショップでは、地中海を視野に入れたイタリアの伝統民族音楽について、特に音楽の特徴や楽器の演奏の仕方などを、楽器を演奏しながら、また音源を使いながら、バンディタリアーナのメンバーたちが分かりやすく説明します。このワークショップは市民や高校生の方々も自由に参加できるユニーク文化交流です。参加無料、予約不要です。

6月17日（日） バンディタリアーナ コンサート

開場：20時00分 開演：20時30分

ジャズ・クラブ「くう」（中央区南1西20、LOGビルB1）Tel. 011-616-7713

前売：大人3000円、当日券：大人3500円、学生割引券2000円（別途ドリンク代500円）

協賛：札幌大学文化学部 協力：イタリア政府 イタリア文化会館

6月18日（月） イタリア民族音楽ワークショップ

札幌大学 6号館 6101教室 10時～12時

お問い合わせ：文化学部教授ファビオ・ランベッリ 研究室 Tel. 011-852-9039

主催：札幌大学文化学部 協力：イタリア政府 イタリア文化会館

【バンディタリアーナ】

バンディタリアーナは、リッカルド・テジ（アコーディオン）、マウリツィオ・ジェリ（ギター、歌）、クラウディオ・カルポーニ（サクソ）、エットレ・ボナフェー（パーカッション）という編成からなっている。ジャンルとして、地中海・イタリアの民族音楽をもとにして、シングソングライターの伝統、ポップス、ジャズやワールドミュージックまで、幅広くさまざまなスタイルをうまくコンビネーションするバンドである。イタリアに拠点を置きながら、国際的に活躍している。また、リーダーのテジ氏は、イタリアン・ロック、ポップスやジャズのミュージシャンとのコラボレーションで知られている。